

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実習Ⅱ 事前事後指導		
担当者(Instructors)	堀 建治, 松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>本授業では、保育実習ⅠAでの成果を踏まえつつ、実習に必要な事務作業の遂行、保育者としての応用能力を養うことを目的とする。より高い知識と実践力をもって保育実習Ⅱに臨むことができるよう、保育実習の意義や目的、保育所の理解、指導計画等への理解をさらに深める。なお、本授業は学部が定める保育実習履修条件に従うものとし、「保育実習ⅠA」に関する科目をすべて履修した者のみ受講可能となるので、注意すること。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	実技形式とディスカッション・グループワークを導入する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の概要、目的を話す。	<input type="checkbox"/>
第2回	実習に向けての諸準備	実習に向けての諸準備（書類作成）を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	実習訪問に向けての準備	事前訪問の目的を学びつつ、事前訪問へ向けての準備をする。	<input type="checkbox"/>
第4回	実習に向けての課題作成	実習に向けての課題を作成する。	<input type="checkbox"/>
第5回	実習における記録について	実際に指導計画を書き、立案する。	<input type="checkbox"/>
第6回	指導計画の立案	実習場面を想定して、指導計画を立案する。	<input type="checkbox"/>
第7回	指導計画の作成	実習場面を想定して、指導計画を作成する。	<input type="checkbox"/>
第8回	実習直前指導	実習前にあたっての最終確認をする。	<input type="checkbox"/>
第9回	事後指導① 実習の振り返りと自己評価	自身の実習への取り組みについて振り返りをする。	<input type="checkbox"/>
第10回	事後指導② 自己評価	所定の自己評価基準に基づき、評価をする。	<input type="checkbox"/>
第11回	事後指導③ 実習の振り返りを共有する	第9回、第10回での成果を発表し、共有する。	<input type="checkbox"/>
第12回	事後指導④ 実習報告会の準備	実習成果発表に向けての準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	事後指導⑤ 実習報告会（成果発表）	実習に関する成果を発表する（2年生と合同）。	<input type="checkbox"/>
第14回	事後指導⑥ 実習報告会（意見交換）	実習に関する意見交換を行う（2年生と合同）。	<input type="checkbox"/>
第15回	保育実習Ⅱ総括	事後指導における振り返りから自己課題を明確にして、実習報告書を作成する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)	
<p>授業前にインターネット等で教科書の予習をし(2時間程度)、授業後に教科書、授業中に配布した資料を再度見直し、課題を作成する(2時間程度)。</p>	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)	
<p>回収した提出課題は添削後に返却をする。</p>	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育実習の意義・目的を理解する。保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。実習の計画・記録・評価の方法や内容について理解する。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	事後指導を通して自己評価を行い、今後の課題を明確にする。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 「授業内試験」：実習の成果について、小文にて確認する。 「その他」：各種提出物(40)、報告会(30)等を総合的に加味して評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド	978-4-907270-19-3
2	実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド	978-4-907270-15-5
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で配布	
2		
3		
4		
5		